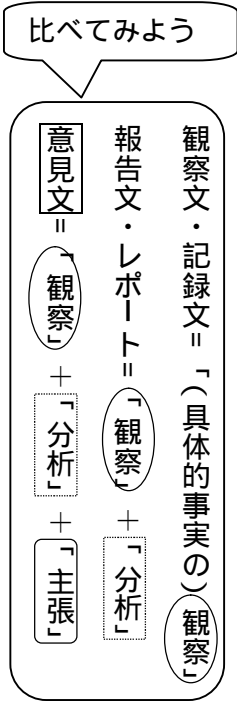


手引き

目的や意図に応じて書く！ 意見文編

一、『意見文』って？

自分の考えや思いをメッセージとして社会に発信したり、相手を説得したりするために書く文章です。具体的事実の「観察」から引き出された「分析」をもとに、「主張」まで論理を展開します。



二、説得力ある『意見文』を書くポイント

意見や立場を明確にする。
根拠を具体的に示す。

構成や展開を分かりやすくする。

反論に対する意見を述べて主張を補強する。

・主張に問題があれば解決策を示す。

例 「確かに、事故など安全面の心配はある。しかし、その点は専門の保育士の先生に指導していただければよいのではないだろうか。」

・主張が理想に偏っていれば現実に歩み寄る。

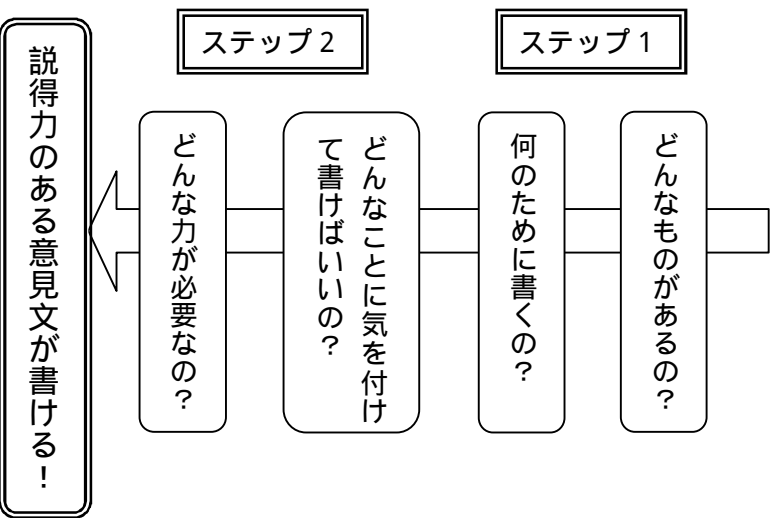
例 「確かに、便利な生活を手放すのは難しいだろう。しかし、不便さが健康にも役立つ程度であればがまんできるのではないか。」

・主張が精神的なら行動を具体的に示す。

例 「確かに、一人一人の自覚を促すことは難しいだろう。しかし、一人が自覚ある行動を示して他の人に働きかけたら、少しずつでも広がるのではないか。」

説得したい相手の心情を推し量って内容や表現を工夫する。

理解の道すじ



《参考にしよう》

- ・課題設定力 「学習の手引き4」
- ・情報収集力 「学習の手引き5」
- ・学習の手引き6 「学習の手引き6」
- ・情報操作力 「学習プリント」読むこと(こと)手引き
- ・「要点まとめに強くなる」
- ・記述力 「学習プリント」読むこと(こと)手引き
- ・「表現の工夫に強くなる」
- ・推敲する力 「学習プリント」書くこと(こと)手引き
- ・「推敲に強くなる」